

第22回 総合防犯設備士資格認定試験問題

A問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

A 基礎問題（必須）

A 問題－1（セキュリティについて1） 解答例

テロリズム(テロ)と一般の犯罪行為では、その形態は同じか酷似しているが、犯行の目的が異なる。テロの目的として考えられるものを四つ記せ。

【解答欄】

①	社会的貧困あるいは不満の解消
②	政治的目的の達成
③	イデオロギー革命（イデオロギーの達成でも可）
④	宗教革命（宗教目的の達成でも可）
⑤	民族的主導権の取得 あるいは独立の達成

A 問題－2（セキュリティについて2） 解答例

セキュリティマネジメントの定義、及び意義・効果の内容について解りやすく説明せよ。

【解答欄】

<p><定義></p> <ul style="list-style-type: none">・ セキュリティポリシーに基づき、リスク又は被害発生原因として想起される脅威の列記、各脅威に対するぜい弱性と発生頻度の分析と評価、対策が必要なリスクの明確化及びその結果を考慮した総合的対策を行うことをいう。
<p><意義・効果></p> <ul style="list-style-type: none">・ セキュリティマネジメントは、リスクの結果として生ずる被害について、その予防、回避、最小化、再発防止及び迅速な復旧・補填を図ることによって社会的責任を遂行するための経営手法の1つである。これは、最小の投資で最大の効果を追求することでもある。・ セキュリティ活動は、製造活動や販売活動のように直接的に収益をもたらすものではない。しかし、この活動を適切に行うことによって、経済的損失の防止、回避、最小化などが可能になるため、安全で平和な生活と組織活動の継続の確保に貢献するのである。

A 問題－3（防犯の理論）

解答例

総合防犯設備士は、防犯の知識を如何に活用するかという能力が問われる。

1970年代に発表された「割れ窓理論」は、現代社会でも広く応用されている犯罪機会論の代表的な理論である。

総合防犯設備士の立場から、防犯環境づくりに欠かせないこの理論を一般の人たちにわかりやすく説明せよ。

【解答欄】

1枚の割れた窓ガラスを放置すると秩序違反の行為に無関心な地域であることの意味表示になり、いずれ街全体が荒れて犯罪が増加してしまうという理論である。

ペットボトルやタバコのポイ捨て、放置自転車などを思い浮かべると分かりやすくなる。

逆に言えば、公園や地域の清掃活動、落書きの消去作業などにより、身のまわりの小さな乱れに素早く対応すれば、将来発生し得るかもしれない犯罪を未然に防ぐ効果があるという考え方だ。

防犯対象施設はもちろんのこと、周辺地域にも目を向け、些細な秩序違反やルール違反を見逃さないことが防犯環境づくりの基盤となることを示唆している。

A 問題－4（防犯対策の考え方）

解答例

防犯対策を検討するうえでは、対象となる施設・建物の各部分すなわち、各領域が防犯上どのような性格を持っているかを整理することが重要である。領域を整理するうえでの分類のうち、物理的な場所に着目すると、公共領域、中間領域及び建物領域の三つに分類する。

建物領域は、さらに四つの部分に分類することができる。記入例にならって空欄を埋めよ。

【解答欄】

建物の部分		説明および対策	
1	外周部	説明	第2警戒線に相当する領域。
		対策	開口部や出入口部の物理的な防御を中心に、侵入警報システムによって強化する。
2	共用部	説明	関係者以外も容易に入ってこられる領域。」
		対策	施設・場所などに応じて防犯カメラなどで監視する。
3	専用部	説明	関係者以外の入室を拒否する領域
		対策	出入管理システムなどで入室者を限定する。
4	特定部	説明	特定の権限がある人以外の入室を拒否する領域。
		対策	出入管理システムなどで入室者を限定する。

A 問題－5（防犯設備の設計）

解答例

アナログ HD 方式カメラシステムの長所と短所を解答例①にならって記せ。

【解答欄】

アナログ HD 方式カメラシステム	
長 所	① メガピクセルの高画素(高解像度)化が可能
	② 映像に遅延がなく同時性に優れている
	③ 同軸ケーブルで接続すればすぐ映像が見ることができ、施工性、メンテナンス性に優れている
	④ コンバーター不要で長距離配線(500m程度)が可能
短 所	① 長距離伝送時に画像劣化が発生する
	② ネットワークカメラシステムのような広域化が難しい
	③ 配線はスター方式なのでカメラ台数分の配線が必要

A 問題－6（防犯設備の構築）

解答例

防犯設備の設計の評価には 5 段階の項目がある。解答例①にならって四つの項目を記せ。

【解答欄】

番号	項 目
①	防犯上の有効性の検証
②	設計内容の検証
③	運用面からの検証
④	維持管理面からの検証
⑤	総合評価

A 問題－7（総合防犯監査1）**解答例**

総合防犯監査において、防犯対策の評価とは、単に防犯設備が機能的、性能的に必要な条件を満たしているかどうかを確認するハード面のほかに、ソフト面での評価も必要である。ソフト面での評価とはどのようなものかを解答欄①にならって、三つ記せ。

【解答欄】

①	運用管理規定の策定と見直し
②	運用管理体制の維持
③	運用管理者のスキル育成
④	利用者の防犯意識の醸成

A 問題－8（総合防犯監査2）**解答例**

総合防犯監査に用いる主な監査技法について、解答欄①にならって、二つ記せ。

【解答欄】

番号	名称	内容
①	レビュー	文書、記録などの監査資料を入手し、内容を確認する。
②	アンケート	質問書への回答から実態を確認する。
③	インタビュー	担当者などに質問し、状況を確認する。
④	視察	業務を行っている場所、状況を見て確認する。

A 問題—9 (総合防犯1)

解答例

犯罪行為は、セキュリティリスクのひとつであり、具体的には、国民の生命、身体、自由、財産などを侵害する行為、公共の秩序と国家の作用を乱す行為、及び国民がその実行者に処罰を加えることが妥当と認める行為のことである。法的に満たす要件とその具体的な説明を記せ。

【解答欄】

番号	要件	具体的な説明
①	構成要件に該当すること	法に定められた犯罪の種類に当てはまること
②	違法であること	処罰に値するだけの害悪をもたらす行為
③	有責であること	その行為について実行者を非難できること

A 問題—10 (総合防犯2)

解答例

総合防犯対策の対象としてのリソースとその具体的な対象を記入例にならって四つ記せ。

【解答欄】

番号	リソース	具体的な対象
①	ひと	人材
②	もの	貴重品、関連施設、システム、設備、資材、原料、製品
③	かね	金銭、小切手、約束手形、株券類
④	権利	財産的価値のある権利
⑤	信用	社会的、営業的信用
⑥	情報	プライバシーを含む財産的価値のある情報
⑦	時	リソース投入のタイミング、実行の速さ、時間の有効利用
⑧	独自の文化	実行する人の行動を規制する基盤・組織活動